



2023年度インターゼミ 多摩学班 研究計画発表資料 —多摩大学が防災で果たす役割—

学部生 朴・長田・河端・趙
担当教員 田中・新西・荻野

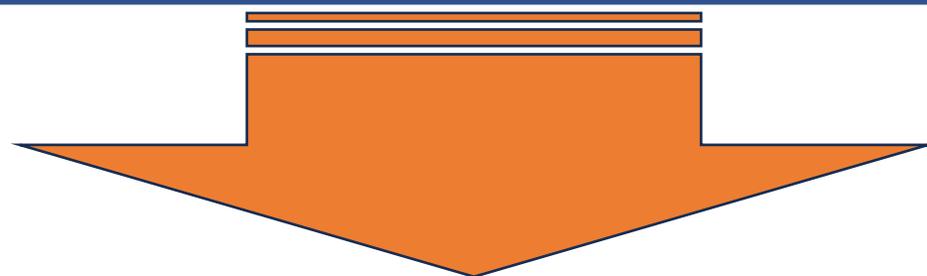
目次

1. 本研究の目的・方向性
2. 本研究における多摩の定義
3. 多摩地域の現状
4. 多摩大学の取り組み
5. 今後のスケジュール
6. フィールドワーク先候補
7. 参考文献

1.本研究の目的・方向性

今年度の本研究の方向性

多摩大学における
防災教育、拠点・情報の提言、発信の場
としての役割構築を目標に研究を行う。



前年度は歴史上類を見ない災害の多さから「防災」の重要性について考察した。

今回は「**水害**」の視点から防災を考える。

1.本研究の目的・方向性



多摩川水系(北浅川)
常時

増水時

NHK
ハザードマップ



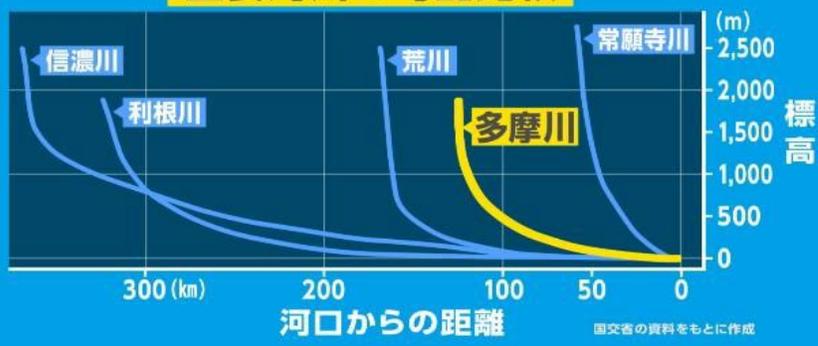
知らないでは済まされない水害問題

- ・温暖化などでの水害の態様の大きな変化
- ・水害の危険性を実体験したメンバーがいる
- ・命を脅かすリスクを有する

昨年度の研究では深掘りできなかった水害の視点から検証する

3. 多摩地域の現状 — 水害 —

主要河川の勾配比較



【出典】NHK『“都市部特有のリスク”多摩川 命を守るための3つのポイント』

標高約2000mから約138kmで河口まで流れることから、勾配が急であることが特徴である。

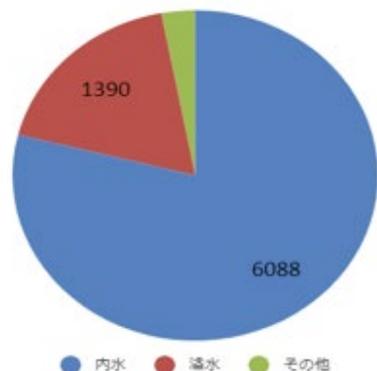
発生日月日		要因	被害の概要(内水被害を含む)
平成16年	10月8日～10日	台風22号	8日未明から9日夕方まで降り続いた豪雨により、石原、 田園調布(上) で警戒水位を超過
平成14年	10月1日	台風21号	1日朝から夜中まで降り続いた豪雨により 田園調布(上) 、石原で警戒水位を超過
平成13年	9月10日	台風15号	8日夕方から12日7時まで降り続いた豪雨により、 田園調布(上) で危険水位を超過し、観測史上4番目の水位を記録
平成12年	7月7日～8日	台風3号	7日昼頃から8日午前中まで降り続いた大雨により、 田園調布 で170mmの大雨を記録
平成11年	8月15日	熱低豪雨	13日から降り続いた雨により、檜原で360mm、 多摩川上流 で375mmの大雨を記録 川崎市戸手地区で浸水被害が発生 床上浸水57戸、床下浸水12戸

【出典】国土交通省関東地方整備局災害記録(多摩川)をもとに作成

主な水害の内訳



雨量が下水道などの排水能力を超え、浸水被害が発生



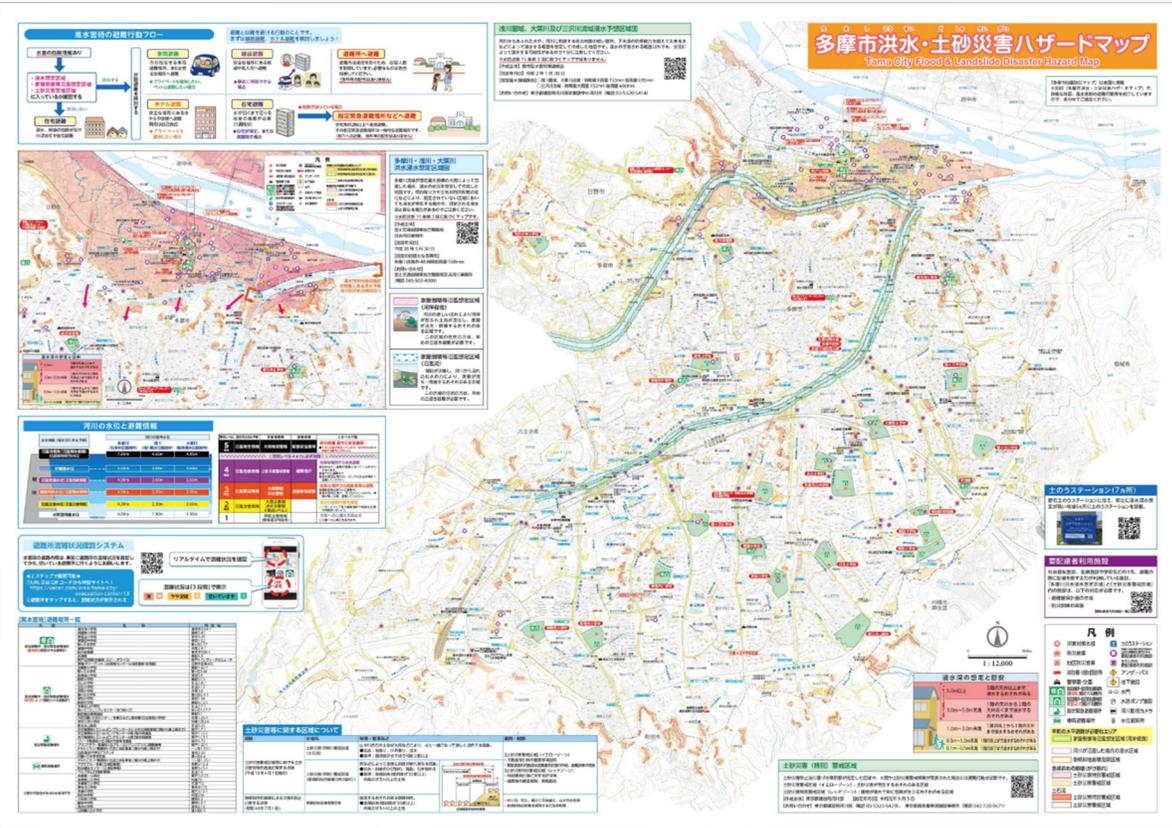
【出典】：東京建設局のデータを基に作成

合計	7709
内水	6088
溢水	1390
その他	231

内水被害が約6割以上を占めている

多摩大学の役割
特に内水被害の危険性を認識・発信
内水被害防止マップの作製を検討

3. 多摩地域の現状 — 防災情報 —



現状

- ・ハザードマップ わかりにくい
- ・水害に関する 外国語版の マニュアルが ない

今後の取り組み



- ① 日本国民、在日外国人への アンケート、インタビュー
- ② 日本国民でも 在日外国人でも 分かりやすい 多摩川 水害MAP作成 (以後検討)



↑
**多摩市洪水・土砂災害
 ハザードマップ**
 ⇄多摩市 川崎市⇄



多摩大学を 防災拠点化へ



4. 多摩大学が果たすべき役割

先行事例を参考に多摩大独自の仕組みづくりを行う

本研究で参考となる産官学

提言・情報提供

多摩大学

現在

将来

インターゼミ

インターゼミ

研究・教育の場構築

学部生
一人ひとり

学部生

共通意識

特別講座・地域間交流等

多摩地域住民
発信
日本→世界

地域住民

日本総研
・多機能防災コンテナ
・道の駅の防災拠点
化他

防災館
体験を通じ視点を
広げる

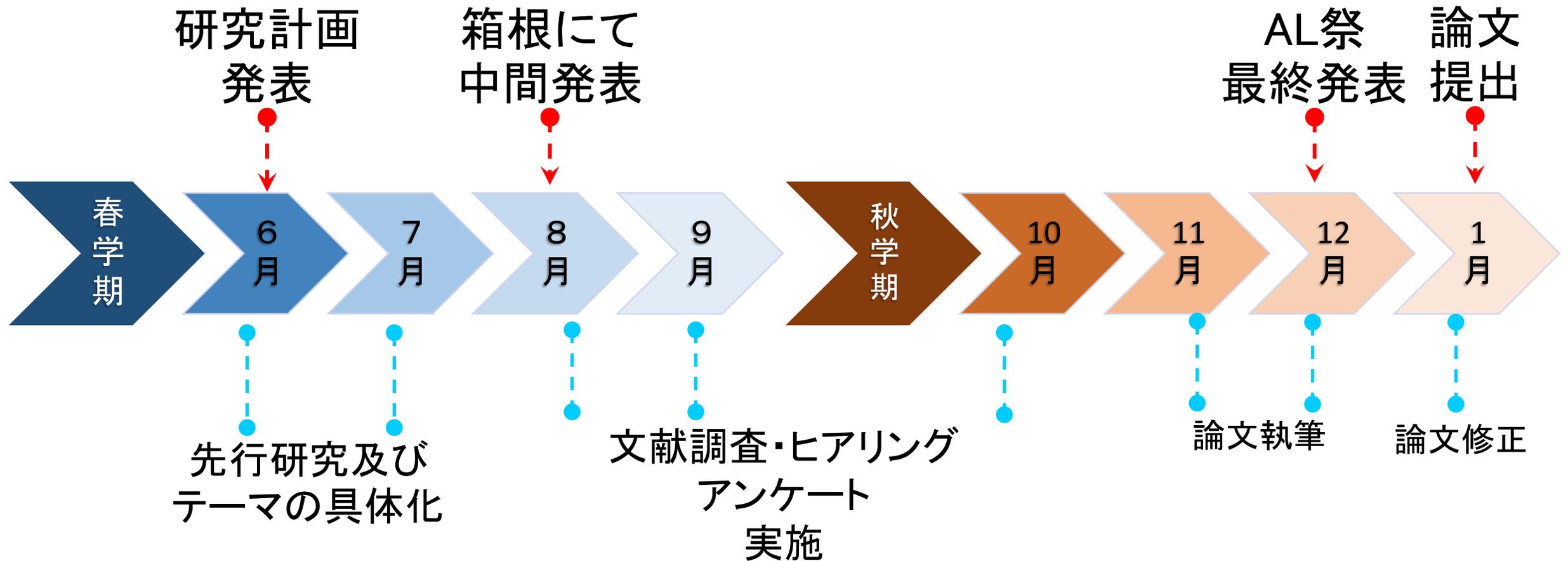
石巻専修大学
震災の体験により
大学としての役割
を深く認識している



セイコーマート
・日産×セコマ 緊急給電
・ガス窯活用他

エビデンス
・過去の論文
・新聞等

5. 今後のスケジュール



6.フィールドワーク先候補

決定

- ① 本所防災館(2023/06/24 9:00~11:00)
- ② 国士舘大学(2023/07/23 14:00~15:30)

候補

- ① 多摩市役所
- ② 多摩市社会福祉協議会
- ③ 立川防災館
- ④ 神奈川県総合防災センター
- ⑤ 東京都 虹の下水道館
- ⑥ 石巻専修大学



↑
①東京都消防庁
本所防災館
【出所】：[Wikimedia Commons](#)

←⑦東京都
虹の下水道館
【出所】：[Wikimedia Commons](#)

7.参考文献

<書籍・資料>

1. 内水排水の考え方は今のままでいいか—頻発するゲリラ豪雨への下水道の対応 村上敏夫
2. 地下空間浸水時のアナウンスが安全避難成功率に及ぼす影響について 川中龍児 石垣泰輔
3. 内水反乱時の避難困難度に関する研究 平川隆一 仲本小次郎 根岸智和 星野裕也

<WEB>

1. 東京都建設局『浅川圏域、大栗川及び三沢川流域浸水予想区域図(改定)』 <https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/content/000047065.pdf> (閲覧日：2023/06/10)
2. 国土交通省『災害に備えたおもてなし』
https://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/bousai/hinan_guidebook/pdf/02_torikumijirei_kouzui.pdf (閲覧日：2023/06/10)
3. 平成30年度自治調査会複数年調査 基礎自治体における多文化共生施策に関する調査研究https://www.tama-100.or.jp/contents_detail.php?co=new&frmId=826 (閲覧日：2023/06/10)
4. 首都直下地震等による東京の被害想定 (令和4年5月25日公表)
<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/taisaku/torikumi/1000902/1021571.html> (閲覧日：2023/06/10)
5. 東京都下水道局『多摩地域の災害時のし尿の搬入・受入れについて』 <https://www.gesui.metro.tokyo.lg.jp/about/e1/in0015/index.html> (閲覧日：2023/06/10)
6. 多摩市ホームページ『防災』 <https://www.city.tama.lg.jp/kurashi/bousai/index.html> (閲覧日：2023/06/10)

ご清聴ありがとうございました。

本研究の方向性

多摩大学における

防災教育、拠点化

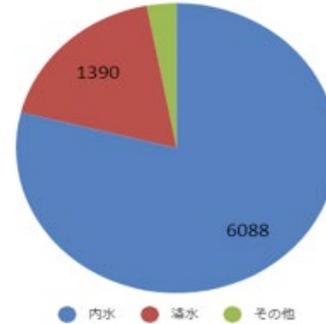
情報の提言、発信の場

としての役割構築を目標に研究を行う。



「水害」について学生視点から調査する

・多摩地域の現状－水害－



内水被害
が約6割以上
を占めている

多摩大学の防災拠点化に向けた方向性

・多摩地域の現状－防災情報－

- ・分かりにくい
- ・水害外国語版ない

多摩大学の役割
内水被害防止マップ
を作製を検討